


令和4年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 <p style="text-align: center;">東亜グラウト工業株式会社</p>	団体区分（混成の場合は複数☑） <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 <p style="text-align: center;">対談を通して伝える当社独自のメッセージ ～未来の下水道業界人へ向けて～</p>	
責任者（実際に広報に取り組んだチームの代表者） 氏 名：梅林 春花 所 属：管路グループ企画部 電 話：03-3355-1531 E-mail： haruka.umebayashi@toa-g.co.jp	
担当チームの構成 （外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） <p style="text-align: center;">東亜グラウト工業株式会社 広報委員会</p>	
取組のポイント （一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） <ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道の機能や目的だけではなく、下水道事業以外の魅力をもっと知ってもらうため、「対談」を通して業界の魅力を伝える新しい広報活動を行った。 ○ 下水道業界で働いている人がどんな人か対談を通して伝えることで業界のイメージアップにも貢献！ ○ 対談により、これから下水道業界を目指す学生や下水道業界以外の経営者等、「未来の下水道業界人」へ向けて当社独自の様々なメッセージを発信。 ○ あえて下水道の話せず、まずは業界以外の方にも興味を持ってもらえる様に、専門的ではない親しみやすいテーマで対談をした。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">入社3年目の社員と本音トーク</p> </div>	
アピールポイント <ul style="list-style-type: none"> ○ 当社の社長や社員が実際に対談に出演することで、出演者の仕草や表情から業界で働く人の生の雰囲気伝えることに成功した。 ○ 若手社員にも実際に対談してもらうことで若手社員のプレゼン力も格段に向上した。 ○ 一般の方や他業界の方と触れ合う場を、自社技術のお披露目だけでなく、自社や業界への理解を深めてもらう目的達成のための機会とした。 ○ 下水道事業だけではなく、視点を変えて他業界の方々ともコラボ対談することで、下水道についてあまり知らない幅広い層の方へもアプローチできた。 ○ 対談の企画から出演まで、全て自社社員で実施することでスピーディーに実行できた。 	
要したコスト <ul style="list-style-type: none"> ● 基本的に対談の企画から出演まで自社社員で行っているため外部委託費ゼロ。 ● 社外ゲストの出演料のみ。 	

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

当社ではこれまででも自社のPRにとどまらず、下水道の価値や業界のイメージアップに向けた情報発信に挑戦してきた。もちろん、下水道の役割やその重要性は様々な団体でも創意工夫して情報発信されているため、当社では**プラスα**として下水道の機能や目的だけではなく、下水道事業以外の所でももっと業界について知って欲しいと考え、**どんな人がこの業界で働いているのかを対談を通して伝えることに注力**した。その足掛かりとして、昨年の「下水道展'21 大阪」では**①常務の大岡と当社社員による下水道展ブースの歴史トーク**に加え、独自の新しい仕掛けとして**②大学教授と社長の山口の対談では、下水道展なのに下水道の話せず未来の下水道業界人へ向けて「若者と仕事」をテーマに様々なメッセージを発信**。



① 代表取締役常務執行役員 大岡太郎氏
当社社員



② 東京大学特任准教授 加藤裕之氏
代表取締役社長 山口乃理夫氏

これに、他の出展者の方からも下水道だけではなく対談内容に「親しみやすさを感じて非常に良かった」等、お褒めの言葉もいただいた。これをきっかけに対談を通じて下水道業界で働く「人」の魅力をより伝えていこうと考え、続く本年度の「下水道展'22 東京」でも**著名な方をお呼びして当社社員とのコラボ対談を行った(③④⑤)**。



③ 東京大学特任准教授 加藤裕之氏
代表取締役社長 山口乃理夫氏



④ 鶴VC 長野クリエイティブスポーツ
代表取締役社長 笹川星哉氏



⑤ 2022 ミス日本「水の天使」
横山莉奈氏

もちろん社員による
下水道技術の紹介もデ
モンストレーションで
分かりやすく実施！



当社の若手女性社員とミス日本「水の天使」の3人の対談では、業界への印象等を語るとともに、当社の魅力も対談でお伝えした。また、当社HPの採用ページでは**入社2～3年目の若手社員の本音トークを動画で公開**することで、**業界で働く人の雰囲気や働き方、考え方などを伝えている(⑥⑦)**。面接に来てくださった方の中には「採用ページの社員の方の雰囲気が良くて応募した」という方もいらっしゃり、社員の心のこもった内容が視聴者にもしっかりと伝わっていた。さらに別事業の社員にも対談に協力してもらうことで、当社の広報活動や下水道事業への社内の理解度向上にもつながった。



⑥ 前はナント...
●●●屋さん!
畑違いの職種から転職
して毎日が楽しい!



この他、**オリンピック選手など他業界の方々ともコラボ(⑧⑨)**して、「東京オリンピック代表選手×経営者」で下水道だけではないテーマで対談することで下水道業界についてあまり知らない方にも興味を持ってもらえる様、幅広い層へもアプローチした。



●2021年東京オリンピック
セーリング競技 外国潤平選手
●セーリング競技 国際スナイプ級
鈴木恵詞氏
●代表取締役社長 山口乃理夫氏



●オリンピックセーリング競技
元日本代表 土居愛実氏
●2022ミス日本「水の天使」
横山莉奈氏
●代表取締役社長 山口乃理夫氏

成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

- コロナ以前の当社下水道展ブースへの訪問者は4日間で約1,000名程だったが、ここ数年はコロナの影響により減少したが、**対談の様子をYouTubeでも配信することにより、約1,900名（リアル訪問者数+YouTube視聴者数）と倍近くの方に発信**できた。
- 「下水道展'21 大阪」の対談を配信で見て、本年度会場へ足を運んでくださった方もいらっしゃり、**下水道展に貢献!**
- **インターンへの応募や当社を理解したうえで面接に来られる学生が増加**した。